

注3

大学番号：155

[平成21年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 宝仙学園  
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

電話番号

（夜間）

F A X

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 宝仙学園

## (2) 大学名

こども教育宝仙大学

## (3) 大学の位置

〒164-8631

東京都中野区中央二丁目33番地26号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(トミ ドウショウ) 富田 道生 (平成14年4月)		
学長	(ヤマザキ モリイチ) 山崎 守一 (平成21年4月)	(イケダ サチコ) 池田 祥子 (平成22年4月)	病気治療・療養に伴う辞任による変更<H22.4.6> (22)
学部長	(イケダ サチコ) 池田 祥子 (平成21年4月)	(アオキ ヤスコ) 青木 靖子 (平成22年4月)	学長交代に伴う変更 <H22.4.1> (22)
学科長等		(サシダ トシカズ) 指田 利和 (平成22年4月)	運営組織強化のため <H22.4.1> (22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合（平成23年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
こども教育学部 幼児教育学科 学士（幼児教育）	4年	100人	0人 年次人	400人	

(注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 ( - ) [ - ]	-人	100人 ( - ) [ - ]	-人	100人 ( ) [ ]	-人	-人 ( ) [ ]	-人	1.00倍	
志願者数	110 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	140 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	213 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	108 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	138 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	207 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	103 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	121 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	118 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	88 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	106 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	107 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	0.88		1.06		1.07					

- (注) ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。  
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 88	[ - ] -	[ - ] 107	[ - ] -	[ - ] 108	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ - ] 83	[ - ] -	[ - ] 97	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		/		[ - ] 75	[ - ] -	[ - ] -
4年次	/						/		[ - ] -
計			[ - ] 88	[ - ] 190	[ - ] 280	[ - ] -			[ - ] -

(注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ - ] 4	(累積)計 [ - ] 88	4.6%
	うち平成21年度入学者 4人	うち平成21年度 88人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学(進路変更) : 4人		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ - ] 17	(累積)計 [ - ] 190	9.0%
	うち平成21年度入学者 9人	うち平成21年度 84人	
	うち平成22年度入学者 8人	うち平成22年度 106人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学(進路変更) : 4人 ・就学意欲の低下 : 5人 ・就職 : 2人 ・除籍 : 1人 ・家庭の事情 : 2名 ・その他 : 3名		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [ - ] 0	(累積)計 [ - ] 280	0.0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 75人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 98人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 107人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<こども教育学部 幼児教育学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎領域	宝仙の歴史	1前	1			2					担当教員辞職(22)に伴う 担当者変更(平成22年4月) <H22.2教員審査済>(23)
	宝仙の教育	1後	1			2					
	仏教概論(歴史)	2前	2			1					
	仏教概論(思想)	2後	2	2		1					
	人間形成論	2後	2								
	現代の倫理と宗教	1・2・3・4前	2	2		1					
	異文化理解	1・2・3・4後	2	2							
	日本国憲法	1・2・3・4後	2	2							
	職業と社会	1・2・3・4後	2	2							
		未開講									
	現代女性論	1・2・3・4前	2	2							履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(21)
		未開講									通常開講(22)
	こどもと親のストレスマネジメント	1・2・3・4前	2	2		1					履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(21)
	暮らしの中のコンピュータ	1・2・3・4後	2	2		1					
	生と死を考える	1・2・3・4前	2	2		1					
	食育と現代社会	1・2・3・4後	2	2							
	地球と環境	1・2・3・4後	2	2							
	健康スポーツ理論	1後	1	1		1					担当教員就任(23) (平成22年9月)
	健康スポーツ実技	1後	1	1		1					担当教員就任(23) (平成22年9月)
	英語(初級)	1前	1	1		1					
	英語(中級)	1後	1	1		1					
	英語コミュニケーション(初級)	2前	1	1							
	英語コミュニケーション(中級)	2後	1	1							
		未開講									
	実践英語(初級)	3前	1	1							履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(23)
		未開講									
	実践英語(上級)	3後	1	1		1					履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(23)
	基礎韓国語(入門)	1前	1	1							
	基礎韓国語(初級)	1後	1	1							
	韓国語コミュニケーション(入門)	2前	1	1							
	韓国語コミュニケーション(初級)	2後	1	1							
	情報処理演習(基礎)	1前	2	2		1					
	情報処理演習(応用)	1後	2	2							
	マルチメディア演習	2・3前	2	2		1					
	未開講										
プレゼンテーション演習	3・4前	2	2		1					履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(23)	
基礎ゼミ(学問への誘い)	1前	2	2		6						
基礎ゼミ(学問に触れる)	1後	2	2		6						
幼児教育基礎科目群	教育原理	1前	2			1					※1 ・担当者未定 (H23教員審査申請予定) (23)
	教育制度論	1後	2	2		1					
	教職・保育職概論	2前	2				1				
	教育課程・保育課程論	2後	2				1				
	発達心理学	1前	2					1			
	保育の心理学	2前	1								
	児童心理学	1後	2	2				1			
	教育心理学	2前	2	2		1					
	国語	1前	2								
	音楽演習(基礎)	1前	1					1			
	音楽演習(応用)	1後	1					1			
	声楽(基礎)	1前	1								
	声楽(応用)	1後	1								
	器楽演習(基礎)	2前	1			1					
	器楽演習(応用)	2後	1			1					
	図画工作演習	2前	1						1		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
連科目群	子育て支援論	3→4前		2				1			履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(23)  履修希望者が最少開講人数に満たなかったため(23) 学長交代に伴う 担当科目変更 <H22.6教員審査済>(23) ※1 科目名変更(23)  ※1 科目新設(23) ※1 科目名変更(23)  ※1 科目新設(23) ※1 科目新設(23)
	子育て支援カウンセリング	3・4後		2		1					
	子育て支援フィールドワーク(基礎)	3・4前		2							
	子育て支援フィールドワーク(応用)	3・4後		2							
	児童文化	3・4後		2			1				
	絵本と児童文学	3・4前		2							
	リトミック	3・4後		2				1			
	ムーブメント	3・4前		2			1				
	障害児の発達と運動遊び	3・4後		2			1				
	未開講										
	地域社会とこども家庭福祉	3→4前		2			1				
	保育実習Ⅰ(保育所)	3前		2		1		1			
	保育実習Ⅰ(保育所)事前事後指導	3前						1			
	保育実習Ⅰ(施設)	3前		2				1			
	保育実習Ⅰ(施設)事前事後指導	3前						1			
	保育実習Ⅰ(保育所・施設)事前事後指導	3前		1		1		1			
	保育実習Ⅱ(保育所)	4前		2			1				
保育実習Ⅱ(保育所)事前事後指導	4前		2			1					
保育実習Ⅲ(施設)	4前		2				1				
保育実習Ⅲ(施設)事前事後指導	4前		2				1				

※1 「児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の授業科目及び単位数並びに履修方法の一部を改正する件」が公布されたため、「児童福祉法施行令第5条第3項」に基づき、申請し、平成23年2月変更承認された。これに伴い、同年同月学則変更の届出を行った。なお、この内容については平成23年度入学生より適用する。

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。そので、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	95	0	117	22 [ - ]	103 [ 8 ]	0 [ - ]	125 [ - ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

(中野坂上キャンパス)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	中野校舎より約42km 電車・バス利用で約80分		
	校 舎 敷 地	2,464.08㎡	0㎡	0㎡	2,464.08㎡			
	運 動 場 用 地	5,230.42㎡	- ㎡	- ㎡	5,230.42㎡			
	小 計	- ㎡	- ㎡	- ㎡	- ㎡			
	そ の 他	- ㎡	- ㎡	- ㎡	- ㎡			
	合 計	7,694.50㎡	- ㎡	- ㎡	7,694.50㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		4,659.32㎡ (4,659.32㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	4,659.32㎡ (4,659.32㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設 (補助職員 1人)	語学学習施設 (補助職員 0人)	大学全体 情報処理学習施設の中に 語学学習施設の機能を含 む	
		4室	6室	9室				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		こども教育学部 幼児教育学科			20 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育・研究活動充実のため 図書・視聴覚資料を増加し た(23) 教育・研究活動充実のため 図書を増加した(22)
	こども教育学部	49,972[4,024] 48,745〔4,024〕 47,825〔4,001〕 (47,825〔4,001〕)	90〔19〕 (90〔19〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	177 154 (154)	1,673 (1,673)	0 (0)	
	計	49,972[4,024] 48,745〔4,024〕 47,825〔4,001〕 (47,825〔4,001〕)	90〔18〕 (90〔19〕)	0〔1〕 (0〔0〕)	177 154 (154)	1,673 (1,673)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		288.11㎡		40	52,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		248㎡		グラウンド1面			—	
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	350千円	図書購入費	32,916千円	5,000千円	4,000千円
	共同研究費等	500千円	4,000千円	設備購入費	123,725千円	1,500千円	3,000千円	
	学生1人 当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,470千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	0千円	0千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、任意による寄付金収入、資産運用収入						

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学の名称	宝仙学園短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
保育学科	2年	一人	年次人	一人	短期大学士	一倍	昭和26年	東京都中野区中央二丁目33番地26号	
									平成22年7月 廃止認可

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
  - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			病気治療・療養に伴う辞任
2			一身上の都合による辞任の申し出があり、学部長が数回にわたり面談協議の結果、辞任を了承した。
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>1) 病気治療・療養に専念するため辞任となった。担当科目については平成22年4月より現学長と交代し(H22.2教員審査済)担当科目等については影響がなかった。またこの旨、学生には説明会を開催し、周知した。</p> <p>2) 当該教員の辞任は、平成22年度担当科目の授業が全て終了してからであったため、当該科目履修には影響がなかった。またこの旨、学生には次年度オリエンテーション内において周知し、さらに後任担当者も決定している旨を周知した。後任担当者は学内選考を経て、平成23年1月変更書提出し、平成23年度4月当初から就任した。</p>
--

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>・学内で検討し、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うとともに、より一層水準を高めるよう各種委員会を立ち上げ、努力している。</p> <p>・小規模（1学年定員100名）であることのメリットを最大限に活かした肌理の細かな学生指導を徹底するため、授業によって1学年を2分割、3分割、あるいは6分割（さらに音楽演習・基礎はグレード別の12分割）で行うこととした。</p> <p>・4年間の学びの基礎としての基礎ゼミは、14～15名を単位とし、初年度教育の内容を意識的に行う。またゼミ担当者によるミーティングを、おおよそ1か月に一度の割合で開催し、学生の状況把握など共通理解に努める。</p> <p>・教員の研究活動の向上のために、「年間研究計画」および「目標挑戦シート」を提示し、自己評価ならびに管理的な評価を併せ行う。</p>	<p>学生による授業アンケート、教員の定期的な研究会実施などのFD活動及びFD研修を予定</p> <p style="text-align: right;">(21)</p>
		<p>教員の研修会実施などのFD活動及びFD研修を実施。</p> <p>授業アンケートを実施する。</p>	<p>引き続きFD委員会において計画立案し、研修会、授業アンケート等実施予定である。</p> <p style="text-align: right;">(22)</p>
		<p>教員の研修会実施などのFD活動及びFD研修を実施。</p> <p>授業アンケートを実施する。 (春秋2回予定)</p>	<p>引き続きFD委員会において計画立案し、研修会、授業アンケート等実施予定である。</p> <p style="text-align: right;">(23)</p>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
(平成20年10月)	<p>・運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>運動場を使用する授業等を5月中旬以降実施 ②1</p> <p>秋学期の最初からH21年度と同様の運動場を使用する授業を予定している。 ②2</p> <p>前年度と同様に運動場を使用する授業を予定している。 ・春5～6月：3回 ・秋10～11月：3回 ②3</p>	<p>授業については、21年度同様に大学から貸切バスで送迎し、担当教員以外の職員も同行し授業支援にあたる。課外活動については、学友会発足2年目に入り、サークル等徐々に活動し始めてきた。学生の要望等充分検討し利用に向け支援していく ②2</p> <p>授業については、21年度同様に大学から貸切バスで送迎し、担当教員以外の職員も同行し授業支援にあたる。課外活動については、学友会発足2年目に入り、サークル等徐々に活動し始めてきた。学生の要望等充分検討し利用に向け支援していく ②3</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)	該当無し		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<こども教育学部 幼児教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 科目新設 ※[]内は単位数</p>	<p>※1 「児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の授業科目及び単位数並びに履修方法の一部を改正する件」が公布されたため、「児童福祉法施行令第5条第3項」に基づき、申請し、平成23年2月変更承認された。これに伴い、同年同月学則変更の届出を行った。 なお、この内容については平成23年度入学生より適用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「保育の心理学」[1]</li> <li>2. 「相談援助」[1]</li> <li>3. 「保育相談支援」[1]</li> <li>4. 「小児保健演習」[1]</li> <li>5. 「障害児保育演習(理念と援助)」[1]</li> <li>6. 「障害児保育演習(現状と課題)」[1]</li> <li>7. 「保育実習Ⅰ(保育所)事前事後指導」[1]</li> <li>8. 「保育実習Ⅰ(施設)事前事後指導」[1]</li> <li>9. 「保育実習Ⅱ(保育所)事前事後指導」[1]</li> <li>10. 「保育実習Ⅲ(施設)事前事後指導」[1] (平成23年度入学生適用科目)</li> </ol>
<p>② 科目名変更 ※[]内は単位数 「保育実習Ⅰ(保育所・施設)事前事後指導」[1] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p>	<p>上記※1同様 →「保育実習Ⅰ(保育所)事前事後指導」[1] (平成23年度入学生適用科目)</p>
<p>③ 科目読替(名称変更) ※[]内は単位数</p> <p>「社会福祉援助技術演習(個別相談技術)」[1] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p> <p>「社会福祉援助技術演習(集団・地域援助技術)」[1] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p>	<p>上記※1同様</p> <p>→「相談援助」[1] (平成23年度入学生適用科目)</p> <p>→「保育相談支援」[1] (平成23年度入学生適用科目)</p> <p>※「相談援助」[1]、「保育相談支援」[1]の2単位まとめて旧「社会福祉援助技術」とする。</p>
<p>「障害児保育演習」[1] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p>	<p>→「障害児保育演習(理念と援助)」[1] →「障害児保育演習(現状と課題)」[1] ◇2単位まとめて旧「障害児保育」とする (平成23年度入学生適用科目)</p>
<p>「保育実習Ⅰ(保育所・施設)事前事後指導」[1] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p>	<p>→「保育実習Ⅰ(保育所)事前事後指導」[1] →「保育実習Ⅰ(施設)事前事後指導」[1] ◇2単位まとめて旧「保育実習Ⅰ(保育所・施設)事前事後指導」とする (平成23年度入学生適用科目)</p>
<p>「保育実習Ⅱ(保育所)」[2] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p> <p>「保育実習Ⅲ(施設)」[2] (平成21, 22年度入学生適用科目)</p>	<p>→「保育実習Ⅱ(保育所)」[2] →「保育実習Ⅱ(保育所)事前事後指導」[1] ◇3単位まとめて旧「保育実習Ⅱ(保育所)」とする (平成23年度入学生適用科目)</p> <p>→「保育実習Ⅲ(施設)」[2] →「保育実習Ⅲ(施設)事前事後指導」[1] ◇3単位まとめて旧「保育実習Ⅲ(施設)」とする (平成23年度入学生適用科目)</p> <p>※「保育実習Ⅱ(保育所)」と「同・事前事後指導」または「保育実習Ⅲ(施設)」と「同・事前事後指導」のいずれかを3単位履修し選択必修とする。</p>

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については



適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## （2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

- ・運営会議において委員会組織を決定し、その一つにFD委員会を設置している。
- ・FD委員会等各委員会の規程については、現在整備中である。

※別添 「こども教育宝仙大学運営会議運営規程」

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・運営会議は、定例年11回開催。（教員5名・事務1名）
- ・FD委員会は、7回開催。（教員3名・事務1名）

#### c 委員会の審議事項等

- ・運営会議：教員人事・委員会組織策定・中期計画立案等
- ・FD委員会：教員研修立案・授業評価、学生アンケート実施案・他大学等FDセミナー参加報告等

### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

#### a 実施内容

- ・授業評価
- ・研修会
- ・教員評価

#### b 実施方法

##### ・授業評価

最終授業時に、学生による授業アンケート方式で各科目の授業評価を行い、その結果に対して教科担当者のコメントを付したものを冊子としてまとめている。教員・学生が自由に閲覧出来るようにし、授業改善のためにフィードバックできる体制にしている。（春・秋学期 各1回実施済み）

##### ・研修会

FD委員会を設置し、FD委員会の企画運営により、学期ごとに研修会を行う。（4回実施）  
レポート担当者からの報告・問題提起を受けた後、授業内容の検討、カリキュラム改革等に関わる議論や検証を行う。

FD委員会を中心に、公開授業（3回実施済み）、授業研究会も研修会の一環として実施する。  
また、特色ある授業あるいは、教育方法の改善の取組について、HPなどで公開していく。

##### （公開授業）

- ・「宝仙の歴史」、「宝仙の教育」、「保育実習I事前事後指導」

##### （授業研究会）

- ・第1～9回基礎ゼミ担当教員連絡会議
- ・基礎ゼミ報告会—2010年度初年次教育の試み—

##### （外部研修会等の参加）

- ・第10回山形大学基盤教育FD合宿セミナー（2010/08）
- ・初年次教育学会第3回大会（高千穂大学）（2010/09）
- ・河合塾主催シンポジウム「大学のアクティブラーニング」（2011/01）

##### ・教員評価

各教員の自己点検作業を前提とした「自己研鑽力」を向上させるために、各自の「目標挑戦シート」の作成・提出を課している。  
内容の区分としては、「研究」・「教育」・「学生との対応」・「大学運営への貢献」・「対外活動」  
・「外部からの評価、受賞、表彰」の6項目が設定されている。  
各教員は、年度初めにこれらの各項目の目標・計画を記入し、学部長に提出する。年度末にはさらに各項目の自己評価・達成度等を記入して、学部長に提出する。それに基づいて、学部長（学長）は各教員を個別に面談する。

##### ・特色ある授業あるいは教育方法の改善の取組に関する本学web公開

「宝仙の歴史・宝仙の教育」：降誕会・花まつり、公開授業「宝仙の歴史」、両大師祭、創立者忌日法要、劇団ザ・ほっぴい公演、成道会  
「基礎ゼミ」（基礎ゼミだより）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 第1回「特別な配慮を要する学生の支援について」（2010/06開催 参加：18名）
- 第2回「保育士養成課程のカリキュラム改正について」（2010/07開催 参加：17名）
- 第3回「保育実習について」（2010/10開催 参加：19名）
- 第4回「はじめての保育実習にむけて」（2010/12開催 参加：18名）
- 第5回「平成23年度入学生のカリキュラムについて」（2011/03 開催）  
→第5回FD研修会は東北地方太平洋沖地震の影響により次年度に延期

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生授業アンケートの集計・分析結果を製本し、授業改善の重要な参考資料とした。  
また、製本された冊子は、本学図書館に常備し、学生へも開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学としての全般にわたる自己点検・評価は、数年に一度行うことになるが、学則に基づく自己点検・評価に関する規則には「学部長による年度報告書の作成と提出の義務づけ、単年度ごとの教育研究活動の点検評価の実施」となっている。

すなわち、教員の研究・教育活動状況、研究費の執行状況、科学研究費の採択状況等を把握し、単年度ごとの自己点検・評価を積み重ねていくことを必須としている。

この他、事務組織における予算の執行状況、年次進行中に課せられる「履行状況報告書」を、年間を通じて意識させ緊張を保たせる。

これらは時代に即応しうる大学として、また学生や社会に対応する教育研究活動の質の保証のためにも当然のことと考えて実施する。

開学以降、設置の趣旨・目的を達成するよう各種の委員会を立ち上げ、それらを総括した自己点検・評価がなされるよう整備を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年5月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年5月予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成25年度に評価機関（財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 11月 25日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.hosen.ac.jp/kodomo.pdf> )

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成23年 6月 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.hosen.ac.jp/rikou2011.pdf> )

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。